

ポイント

- (1) 共通の体験
- (2) 所属感
- (3) ネガティブな役割
- (4) 思いの代弁
- (5) 称える・誉める

(1) パペットとの出会い～様々な園から入学した児童の共通の体験を～

入学して2週間。気を張って頑張っていた児童が、少しずつ不安を覚え始めました。

同じ境遇にあった男の子が見事に克服し、元気に学校に慣れるまでに一緒にいてくれたぬいぐるみの「ふくちゃん」こと「ふくやまふくたろう」。です。



いつもは教室の棚の上でいつも見守っています。泣いている児童には、「大丈夫、僕がついているよ」と励まします

やさしいふくちゃんはあっという間に学級のアイドルになりました。

(2) 朝の健康観察～所属感をあたえるパペット～

全員の健康観察の後はふくちゃんの健康観察をします。健康観察というよりは、1日の出来事の報告がしたいのです。また、ふくちゃんも、教室前から見ていたという前提で児童のがんばりを褒め称えます。そのことで、見守っていてくれているのだなということを感じることができました。

「今日は〇〇ちゃん泣かなかったよ」
「今日は〇〇くん来たよ」と報告をする児童と大袈裟に喜ぶふくちゃん。
休んだ友達の席に座って、学習することもあります。

パペットを通して学級の友達が自分の登校を待っていることに喜びを感じ、学級の一員としての所属感を強く感じるすることができました。

(3) ソーシャルスキルの場面で～ネガティブな役回りのパペット～

児童は常に正しくありたい、理想的な1年生でありたいと思うのですが、完璧な1年生であり続けることは大変なことです。そこで、パペットに少し情けなかつたり、劣等生だつたりという役割を担ってもらうことで、学校生活への柔らかな適応に一役かってくれる存在になってくれました。

(4) 気持ちの共有～思いを代弁するパペット～

様々な園から入学してきた児童は、時折個性がぶつかりトラブルに発展したとき、まだ、幼なかつたり、相手の特性が分からなかつたりする1年生は、どうやって自分の気持ちをつたえたらよいか分からないことがしばしばありました。

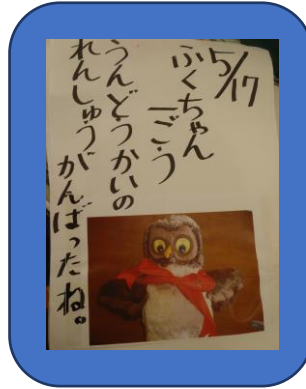
そのときは、ふくちゃんに自分の気持ちを語らせることで客観的に、自分の立場を感じることができました。

(5) 集団作り～全員で頑張ったことを称えるパペット～

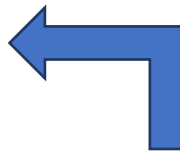
きっかけは、不安を抱える児童への対応つまり、個への対応でしたが、学級のアイドルになったふくちゃんにみとめてもらうことは児童の大きな喜びになっていきました。

学級全員が何かを成し遂げたとき、花丸をあげています。その花丸を10個集めると、フクちゃんカードをもらうことができます。さらに、フクちゃんカードを10枚集めると、パーティをすることができます。児童は、全員で頑張ることでふくちゃんに認めてもらえることから、声を掛け合って協力することが増えました。

記念すべき第1号は運動会の練習をがんばって、もらうことができました。教室に掲示しておくことで、学級のがんばりの足跡ものこります。



- ふくちゃんパーティ
- 一 しかい ○○さん
 - 二 はじめのことば ○○○さん
 - 三 うた かぜになりたい ○○さん
 - 三 だしもの
 - ① うた
 - ② おわらい
 - ③ クイズ
 - ④ なわとび
 - ⑤ げんぼんハーモニカ
 - ⑥ がっそう
 - ⑦ ダンス
 - ⑧ シーエム
 - 四 ゲーム
 - 五 たからさがし
 - 五 しょうらいのゆめ
 - 六 おわりのことば ○○○さん



12月には子どもたちが自分たちでクリスマスバージョンにしてみました。

パーティーは3回行いました。1回目は教師主導。2回目は物作り。3回目は自分たちで主催しました。